

広報

ただみ

1
2016 月号

No. 548
平成28年1月10日



- 新年のごあいさつ.....2～3
第44回只見ふるさとの雪まつり.....4～5
＜News&flash＞
三笠宮彬子女王殿下が只見小に来校 ほか・・・6～7
＜町の話＞
只見高校で模擬選挙 ほか.....8～9

今月の表紙

只見振興センター、明和振興センターでは冬季講座としてパソコン講座が行われました。

参加者は年賀状作成の他、パソコンの操作方法なども講座の中で学び、パソコンに対する知識を高めました。

活力あふれる自立した 町づくりを目指して



只見町長
目黒 吉久

初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

さて当町におきましては、未曾有の豪雨から4年半が過ぎようとしています。関係機関ははじめ多くの方々、町民の皆さまのご努力、ご協力を得ながら概ねその目標を達成しつつあり、叶津川・黒谷川改修工事も竣工し、只見川圏域の河川整備計画も認可を受け測量に着手されました。一層の進展が図られるよう沿線町村連携のもと一級河川只見川整備促進期成同盟会も設立されたところです。

JR只見線につきましては、県・関係市町村が一丸となって全線再開通を求めてまいりましたが依然として厳しい状況です。しかしながら、只見線は奥会津の大事な観光交流資源でありますので、引き続き全線再開通を求めてまいります。

八十里越地点の早期開通につきましては、三条市、議会と共に強く働きかけをしており、昨年暮れには三条市との間で開通後を見据えての取り組みについて、今から検討を始めるようというところで三条市・只見町連携戦略会議創設の合意を図りました。

人口減少により地域の活力が低下する中、住民の安全・安心の確保

と共に、厳しい状況の中にあつても未来に向けた存続のために自信と誇りをもつて自主・自立を目指した地域の活力を高めていくことは最重要課題です。ユネスコエコパーク登録後、後半が過ぎましたが、自然や伝統文化を大切にしながら地域資源を活用し、グローバル化と激化する市場競争の波に飲み込まれない自立した町づくりを地域政策の理念として取り組み、只見・朝日・明和地区の地域特性を活かした拠点づくりを進めてまいります。

また、第6次振興計画が最終年度を迎え、現在、第7次振興計画の策定に取り組んでおります。第7次も第6次の理念を基本的に継承し、先行して作成した地方総合戦略の基本目標に沿って事業展開を図る考えであります。

役場庁舎建設につきましては、皆さまの理解を得られる形で、当初の目標を実現できるよう努力してまいります。

高齢化が進む集落地域対策は、住民の皆さまや活動団体等と情報連携を密にし、なお一層生活の視点に立つて町民と共に考える町づくりを基本に進めてまいります。

定住促進対策としましては、交流事業の促進を図ることはもとより、空き家対策も含め、地域おこし協力隊の活用等人材確保にも努めてまいります。

町民の皆さまが安心して暮らせるよう医師の現行体制を堅持するとともに、看護スタッフの充実を図り、保健・医療・福祉・介護の包括的な充実にも努めてまいります次第であります。

少子化の進む中、子育て支援は大変重要ですので、これまでの支援を継続しつつ、新たな事業も展開してまいります。

教育においては、少子化を踏まえ只見高校の存続と振興の為、山村教育留学生を受け入れる奥会津学習センターの増設を進め、文化・スポーツ団体等への活動支援も力を入れたと考えております。

以上様々申し上げましたが、只見町の持てる魅力、力を引き出し誇りと活力、自立した町づくりを目指し地域課題の解決に向けて全力を傾注してまいります。しかしながら、町議会並びに町民の皆さまのご理解とご協力が無ければ実現は不可能であります。職員が一丸となって取り組むことはもとより、それぞれの立場でのお力添えを賜りながら町外の方々も含め皆さんの力が発揮できる活力ある町づくりを目指してまいりますので、なお一層のご支援ご協力をお願いします。

結びに、平成28年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げ年頭のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

町民と共に歩み 参加できるまちづくり



只見町議会議長
齋藤 邦夫

あけましておめでとうございます。只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆さまには輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年暮れに国勢調査の速報が発表され、本町は厳しい人口減少の時代を迎えました。その課題に対応していくためには、只見の特性を活かし、創造性豊かな構想やアイデアが求められますので、町民皆さまの積極的な町政参加をお願いしたいと思います。

昨年を振り返りますと、海外ではISによる年明け早々のテロや難民問題が発生し、地球温暖化による異常気象が各地に大きな災害をもたらしました。地球温暖化対策としてコップ21では、全加盟国の合意により新しい一歩が踏み出されました。

国内では安全保障関連法が成立し、集団的自衛権の行使など、日本の安全保障政策は大きく転換されました。

また、公職選挙法が改正され、選挙権が18歳に引き下げられ、夏の参議院選挙から適用されますので、若い世代の政治に対する意識が注目されます。また、本町においては、3月に議会議員選挙、11月には町長選挙が行われます。

日本経済は、為替の円安・原油安の中、経済再生の一環としてTP

Pに加盟しましたが、これが発効されますと関税の撤廃により輸入商品は安くなる反面、食の安全と国内農産物との価格競争など、国民生活への影響が懸念されます。

本町の産業活動は、基幹となる稲作が天候不順により若干減収となりましたが、トマト、アスパラは高値販売ができました。また、商工業及び観光は、災害復旧も概ね完了し、地元消費の拡大と経済の支えをするため、プレミアム復興商品券の発行等の対策が講じられてまいりました。

一方、高齢化が進み医療と福祉の充実の本町の重要な課題ですが、12月には、特別養護老人ホーム「あさくさホーム」が開所されました。

また、公共施設整備については、役場庁舎の建設が資材の高騰等により不発となりましたが、只見振興センター並びに奥会津学習センター増築工事は実施設計が予算化され、叶津及び亀岡集会所施設は環境整備を残して完成しました。

さて、今年度は、第7次只見町振興計画に基づき、町政全般の施策展開が図られるところですが、当面、JR只見線復旧は喫緊の課題として、支援団体の協力を頂き、JR当局への運動を強化すると共に、国道289号線は日本海側と奥会津の窓口として、本地域発展の最大のインパクトを持つものとして沿線

市町村と連携し早期開通に努力いたします。

本町は少子高齢化対策が最大の行政課題であります。高齢者を将来支える少子化対策が急務であり雇用創出・出産・育児など、総合的な施策が求められます。

また、地域包括ケアシステムは、制度サービスに留まらず集落機能の維持など、高齢者世帯の在宅可能なやさしい地域づくりが必要です。

福祉政策は、人手とお金がかかりますが、地域内を循環させることによって、雇用が生まれ経済の活性化に繋がるものと考えます。

一方、町財政は年々縮減傾向にありますので、産業経済対策や教育振興など、きめ細かな検討を踏まえ、政策を絞り重点化を図らなければなりません。通年議会を通して町民のニーズを把握し、施策の提案や投資効果を点検するなど、皆さまの代表として議会の役割を果してまいりたいと考えます。

議会は、町当局と共に相互の役割を尊重し、互いに緊張感をもって切磋琢磨しながら、只見町発展の為に全力を尽くしてまいりますので、尚一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多い年となりますよう心より祈念致しまして年頭のご挨拶いたします。

第44回 只見ふるさとの雪まつり



今年の雪むすめが決まりました!

鈴木 ひかりさん(写真 左)

清水 幸^{みゆき}さん(写真 右)

第44回只見ふるさとの雪まつりを盛り上げてくれる雪むすめが、鈴木ひかりさんと清水幸さんに決定し、12月12日に委嘱状が目黒町長より交付されました。雪むすめの2人には、県内外で雪まつりのPR活動をしていただき、雪まつり当日は会場で行うイベントなどのお手伝いをして頂きます。



▲17日に只見町役場で贈呈式が行われました

雪まつりオリジナルフレーム切手を販売!

日本郵便株式会社東北支社は、12月17日から只見ふるさとの雪まつりオリジナルフレーム切手を販売しました。切手は花火やステージイベントの写真などで構成され、1シート(82円×10枚)1,300円で限定1,000シートの販売となっており、会津管内の郵便局で販売され、ネットショップでも取り扱われています。

▶こちらが販売されている切手です



2/13 野村将希 オンステージ!

13日は、いわずと知れたドラマ「水戸黄門」の柘植の飛猿役で知られる野村将希さんが只見町にやって来ます!紅白歌合戦にも出場されておりその歌唱力は抜群です!!

2/14 ダンディ坂野&スギちゃん 爆笑お笑いライブ!

14日は、「ゲッツ!」「ワイルドだろお」で有名になった、ダンディ坂野&スギちゃんのお笑いライブが行われます!2日間とも観覧無料なのでぜひお越しください!

この他、多数のイベントが雪まつり会場で行われます。

詳しくは只見ふるさとの雪まつり公式ウェブサイトをご覧ください。

<只見ふるさとの雪まつり公式Webサイト>

<http://tadamisnowfes.com>

<只見ふるさとの雪まつり実行委員会>

☎0241-82-5240

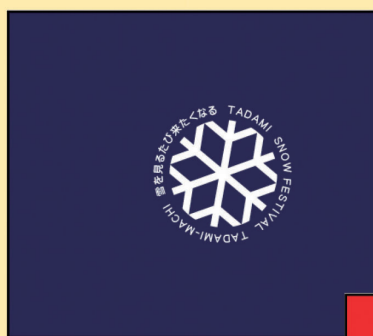
みなさまのご支援、ご協力をお待ちしております! 雪まつり町民花火募金!!

雪まつりの「町民花火」は「町を築いた先人に感謝し、輝く未来反映のため、そして町民の皆さんの健やかな暮らしを祈願する」という趣旨により第38回雪まつりから始まり、今回も盛大に町民花火を打ち上げるため、只見町役場はじめ、只見町観光まちづくり協会、季の郷湯らりや町内の商店などに募金箱を設置しております。

今年は1,000円以上募金していただいた方に、雪まつり限定ネックウォーマーをプレゼントしております。皆さんで素晴らしい町民花火を打ち上げましょう!

また、町民花火募金は、雪まつり公式ウェブサイトの祈願花火募集からでもできますので、ぜひよろしくお願い致します。

<http://tadamisnowfes.com/hanabi.html>



▲色はレッドとネイビーを揃えています!

このネックウォーマーを身につけて、雪まつり会場に来て頂けたら嬉しいです♪
先着順なので、お早目どうぞ!



子ども達に温かを感じ

三笠宮彬子女王殿下が只見小に来校

12月7日に三笠宮彬子女王殿下が只見小学校に来校されました。今回の訪問は、彬子女王殿下が只見小学校の子ども達とふれ合いたいという思いから実現されたものです。

彬子女王殿下には、5・6年生に「日本の伝統」についての特別授業をしていただき、子ども達からは全校合唱で校歌などの歌をプレゼントしました。

また、子ども達と一緒に給食を食べさせていただいたり、たくさんお話などをしていただき、子ども達は温かく楽しい時間を過ごしました。



▲米など町の産品も彬子女王殿下にお渡ししました



▲彬子女王殿下と一緒に過ごした時間は、子ども達にとって大変貴重な経験となりました



▲居室は完全個室で29室です



▲正面玄関前で関係者によるテープカットが行われました

関係者で施設の完成を祝いました

あさくさホーム竣工祝賀会

只見町長浜地内で整備が進められていた特別養護老人ホーム「あさくさホーム」が完成し、12月7日に同施設で竣工祝賀会が行われ、南会津郡内の町村関係者など約60名が出席しました。

内覧会後に行われた式では、施設名称の公募で最優秀賞となった吉津マチ子さんの表彰や、施工事業者の株式会社南会西部建設コーポレーションへ感謝状などが贈られました。

あさくさホームは、完全個室の29室を備えた小規模な施設で、原則、所在地の只見町の方のみが入居の対象となります。



▲表彰される施設名称の公募で最優秀賞となった吉津マチ子さん

今回は只見町の民具を視察

只見町社会教育委員定例会

11月27日、朝日振興センターで今年度3回目となる只見町社会教育委員定例会が行われました。

社会教育委員は、社会教育法に規定された社会教育に関する計画の立案や調査研究を行い、社会教育に關して教育委員会に助言をする役割を果たす活動をしており、只見町には現在5名の委員がいます。

今回の定例会では、今年度の主要事業進捗状況の確認や、民具収蔵庫の見学などが行われ、委員の皆さんから意見などをいただきました。



▲委員の皆さんは民具の状態などを確認しました

戦後70年 平和を誓う

只見町戦没者追悼式

12月1日、朝日振興センターで只見町戦没者追悼式・慰霊祭が只見町遺族会の主催で開催され、ご遺族の方や関係者の方など約60名が参加されました。

只見町の戦没者追悼式は5年ごとに開催されており、ご遺族の方が高齢化が進み年々参加される方は減少していますが、今年は戦後70年を迎え、改めて戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを次の世代へ伝えていく事の大切さを戦没者追悼式を通して感じました。



▲改めて平和を誓いました

災害時の緊急輸送や見守り事業を

ヤマト運輸株式会社と協力協定

12月3日、只見町役場でヤマト運輸株式会社と災害時における緊急輸送並びに高齢者等見守り事業の協力協定締結式を行いました。

今回の協定は、災害時に町が管理する防災用備蓄品の避難所配送や物資拠点の運営などを行う内容と、配達業務で高齢者宅等への訪問の際は、訪問先で異変などを発見した場合、町へ連絡をしていただく内容となっており、さらなる安全・安心な生活を送るためヤマト運輸株式会社へ支援していただきます。



▲目黒町長とヤマト運輸株式会社の渡部会津田島支店長

継続的な美化活動が認められ

只見町道路河川愛護会に感謝状

12月9日、只見町役場で只見町道路河川愛護会に優良河川愛護団体等感謝状が贈呈されました。

これは、多年にわたり河川などの環境美化、愛護思想の普及、巡視などによる維持管理などの協力を行い、多大な成果を上げるなど、他の模範となる団体や個人に対して福島県河川愛護会は、自主的に河川清掃や草刈りを継続的に行ってきた事が評価され、今回感謝状が贈呈されました。



▲感謝状は愛護会代表の菅家二千六さんに手渡されました



▲投票箱に1票を投じる生徒



▲なかなかできない開票作業も体験しました

政権放送視聴から 開票事務までを体験 只見高校で模擬選挙

選挙権年齢が18歳以上に引き下げる改正公選法が成立し、来年18歳を迎える只見高校3年生39人が12月9日に只見高校で行われた模擬投票に参加しました。政見放送を視聴した後、実際に選挙で使用される投票箱や投票用紙を使い投票が行われたほか投票所受け付け事務や、開票作業なども体験しました。

参加した生徒は、今回の体験で投票に行きやすくなった、自分の考えを反映したいなど模擬投票の感想を話してくれました。

ツリーの飾りつけなど楽しめました カルガモクラブ クリスマス会

12月15日、只見振興センターでカルガモクラブのクリスマス会が行われました。初めに民生委員の皆さんから手遊びや読み聞かせをしていただき、その後クリスマスツリーに飾りつけをしたり、紙皿クリスマスリース作りなどをして、ちょっと早めのクリスマス会を参加者で楽しめました。

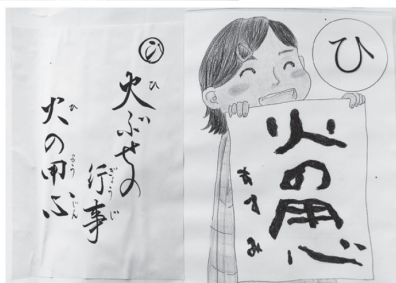


▲今回は約40名の参加があり会場は大盛り上がりでした



▲只見小学校の5・6年生は夢中でカルタを楽しみました

「ひ」は火の用心です。どのカルタも只見に関する素晴らしい絵が描かれています



人材育成講座4期生が 中心となり作成 「只見自慢カルタ」が 完成しました

教育委員会が主催し行っている、人材育成講座の4期生が中心となり作成していた只見町の良いところを集めたカルタが完成し、12月17日に只見小学校の5・6年生が実際にカルタをして楽しみました。

カルタには只見の伝統文化や観光資源など手書きの絵が書かれ、カルタをしながら只見町について学べる事のできる素晴らしいカルタになりました。

初級・中級に分かれて開催 只見おもしろ学検定！



▲子供から大人まで年代を問わず検定に参加しました

12月7日、各振興センターを会場に只見おもしろ学検定が初めて行われました。

検定は初級・中級に分かれ、どちらもおもしろ学ガイドブックから50門が出題されました。

今回の検定では下記の方々が見事に合格されました。

検定に合格された皆さん

<中級>	大竹 恵美子さん		
<初級>	湯田 健人さん	吉津 就 さん	
	横山 慎 さん	横山 麻佐美さん	
	大東 由佳さん	古賀 薫 さん	
	新国 守 さん	目黒 義行 さん	
	山内 明生さん	加藤 三紀子さん	

座談会「只見町の昔を聞く」12月5日(土)

企画展「昔の写真からみた只見町」で、写真をお借りした方々の中から、菅家誠也さん(只見)、飯塚恒夫さん(坂田)、星文孝さん(黒谷)の3名が話し手となり、古い写真を見ながら南光社や当時の町の様子についてお話していただきました。また、時代と共に撮影の仕方や写真の題材が変化したことなどについても紹介がありました。

参加者からは、かつて、只見町で養蚕の組合をしていた南光社の取引の状況などについて質問があったほか、参加者自身が体験した養蚕の話も出てきました。

町民の皆さんを中心に約30名の方にご参加いただき、とても賑やかな座談会となりました。



▲賑やかな座談会の様子

ブナセンター講座 「自然の恵みの活かし方

～今までもユネスコエコパーク登録後も～」12月19日(土)



▲たくさんの方にご参加いただきました

日本MAB計画委員会委員長である松田裕之 氏(横浜国立大学大学院・教授)を講師にお招きし、「ユネスコエコパークという制度を使って、“只見の自然環境や伝統的な生活文化”をどのように活用し、地域経済の発展を図っていくか」についてお話していただきました。

講座には、町内外から約30名の方が参加されました。最後に、松田先生から「ユネスコエコパークに登録されたことで築かれる国内や世界とのネットワークを使いこなすことが重要」というようなお話をいただきました。

冬期間は足元が滑りやすくなります 転倒に注意しましょう！

●65歳以上の方は転倒すると骨折しやすくなります！

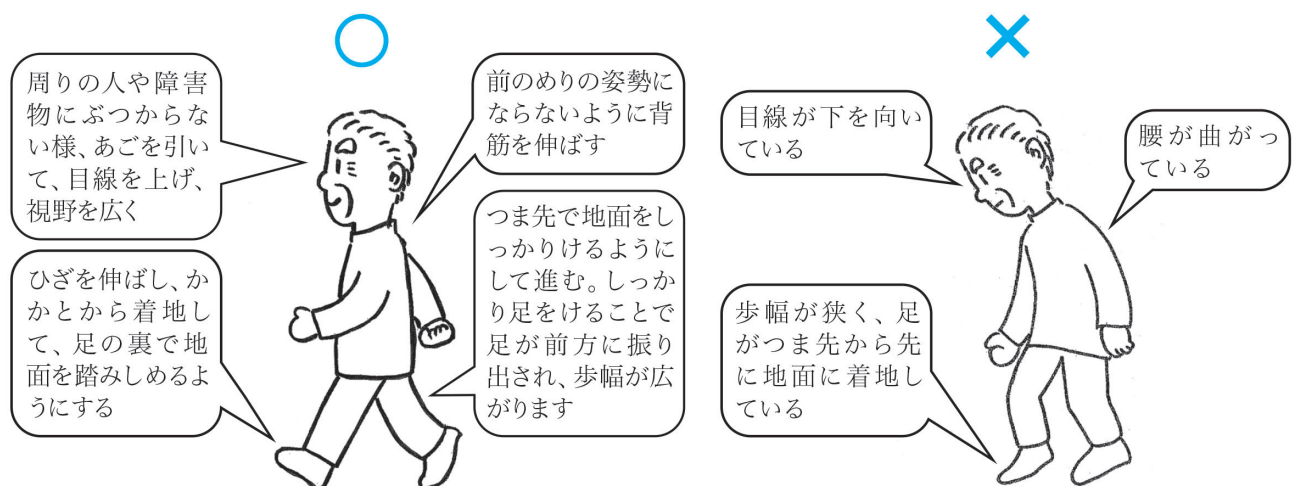
- ・ 1年間に65歳以上の5人に1人が転倒しています。
- ・ 転倒して救急車で運ばれた65歳以上の約半数は骨折をしています。
- ・ 寝たきりの原因の第4位は転倒・骨折によるものです。

●質問内容に当てはまる場合には○をつけてみてください。○が多いほど転倒する危険性が高くなります。

質問内容	チェック	対応
この1年間に転倒した		歩くことは、全身の7割以上の筋肉が活動するといわれるほど効率の良い全身運動です。また、呼吸機能や循環機能も活性化され、疲れにくい体になります。日頃から歩くことや、筋力・柔軟性を高めておくことが大切です。
横断歩道を青信号の間に渡りきることができない(およそ10秒)		
1km位を続けて歩くことができない		
片足で立ったまま靴下を履くことができない		片足立ちは、バランスだけでなく筋力も必要となります。支えになるところの横で、つかまりながら片足で立つ練習をしましょう。
水でぬれたタオルや雑巾をきつく絞ることができない		握力は、全身の筋力と深い関係があるといわれています。足腰の筋力を落とさないように散歩や体操を取り入れましょう。
日常、サンダルやスリッパをよく使う		スリッパやサンダルなど滑りやすく・脱げやすい履物は避け、歩きやすい靴を選ぶようにしましょう。転倒の多くは居室内のささいなものでつまずき、滑り、ふらついておきていることから、身の回りの整理整頓などに心がけ、転びにくい環境を整えましょう。
家の中でよくつまずいたり、滑ったりする		

歩く姿勢

正しい姿勢を意識して歩くことで、お腹や太ももの筋肉が刺激され筋力が保たれます。また、歩く刺激を骨に伝えることにより、強い骨が作られ骨粗鬆症の予防につながります。



只見町の水辺林は未来への遺産 ―ヤナギ科樹木の繁殖と更新―

水辺には、多くのヤナギ科樹木（以下ヤナギという）が分布しています。只見町内を流れる只見川や伊南川にも、いたるところでヤナギが見られます。そのなかでも二〇〇三年に伊南川で発見された絶滅危惧種ユビソヤナギは、国内最大の分布域をもつヤナギです。ほかにも高木のシロヤナギ・オノエヤナギ・オオバヤナギ、低木のイヌコリヤナギ・ネコヤナギ・タチヤナギなどが見られます。これらのヤナギの多様な生き様を紹介しましょう。



▲水際に一列に並んだヤナギの実生

ヤナギの特徴

ヤナギといえば、水辺や公園に植栽されているシダレヤナギを思い浮かべる人が多いでしょう。ヤナギが水辺に多いのは確かですが、高山にも分布するなど、幅広い分布域を持っています。また、雄の木と雌の木がある雌雄異株ということも大きな特徴です。ヤナギの繁殖は種子によって行われますが、その多くは種子だけでなく栄養繁殖もします。ヤナギは、挿し木によって簡単に増やすことができます。

ヤナギの開花

只見町では、雪解けの進む四月になると、ユビソヤナギの開花が始まります。積雪がまだ一メートルもあるにも関わらず、ほかの樹木が葉を展開する前に開花します。雄花は開花して花粉を散布した後、雪の上に落下します。雌花は開花後、種子が成熟するまで樹上に残っていますので、雌雄の区別は簡単につきます。五月になると、シロヤナギが咲き始めます。ネコヤナギなど低

木のヤナギは、樹高が低いときから花を咲かせます。十数メートルまで成長する高木のユビソヤナギやシロヤナギなども、樹高二・三メートルで花を咲かせます。ヤナギの花粉は、昆虫や風によって運ばれます。

種子散布

ヤナギの種子は開花後、一か月ほどで結実し散布されます。種子には綿毛が付いており、風に乗って遠くまで運ばれます。また、川の水に漂って岸にたどり着き、そこで発芽することもあります。種子の寿命は短く、せいぜい二週間程度です。

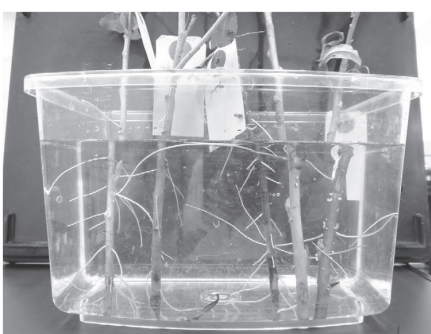
ヤナギの発芽と融雪洪水

ユビソヤナギやシロヤナギの種子が散布される五月から六月頃は、融雪洪水の水位が低下していく時期にあたります。融雪洪水後の岸辺には湿った細かな砂礫が堆積しており、一列に並んだヤナギの実生を見ることが出来ます。

ヤナギの成長と環境

ヤナギは日当たりのよい場所を好む陽樹です。そのためにトチノ

キやサワグルミがブナとともに溪畔林を形成し、林冠がうっぺいしているような河川幅の狭いV字谷にはあまり分布していません。林内で発芽できたとしても、光が差し込まないとすぐに枯れてしまうのです。しかし、流路変



▲水に浸かって発根したヤナギの枝

動が生じて河川幅が広く明るいうちが中州があるような場所では、非常に早い成長を示します。

栄養繁殖

ヤナギは種子による繁殖のほか、枝による栄養繁殖を行います。ヤナギの枝を水につけておく

と、多くの種類は枝から発根してくるのを見ることが出来ます。ヤナギの枝は発根性が高く、上流から流れてきた枝が発根し、個体として成長することもあります。また、大きな洪水などで倒され、土砂に埋没した枝や幹からは多数の萌芽が発生して、個体を維持しつづけます。

ヤナギの更新

ヤナギは種子による実生からの更新を行う一方で、枝などの発根による栄養繁殖を行っています。只見町のような積雪地帯においては、実生の定着は、融雪洪水が徐々に低下していく時期に砂礫地で起こりますが、大部分は翌年の融雪洪水で流失します。しかし、大規模な洪水の際には比高の高い新たな中州が形成されることも多く、ここで発芽した実生は融雪洪水で流失することもなく成長を続けます。それに対して、萌芽などの栄養繁殖は、大規模な洪水などによってヤナギ林が破壊された時に生じると考えられます。



町民文芸

只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

赤き実を残せる枝に冬の芽も並びて見ゆる春は遠きに

小倉キミ子

小学校の運動会に参加して生徒作りしメダル受けたり

関谷登美子

古い母に行きたき所を尋ねればテレビで世界が見れると笑ふ

古川 英子

予防接種で病院混み合ひ薬のみ貰ふわが名も未だ呼ばれず

渡部ゆき子

一週間も猪苗代湖に白鳥のはや来しといふ雪も早きか

馬場 八智

水害に壊れし線路に草茂り寒ざむとして冬が又来る

目黒 富子

土浅く埋めし球根明日咲くと得意気にして孫は又言ふ

渡部ヨリ子

冬囲ひの板の隙間より一輪の真紅のばらが日に映えてをり

新国 洋子

病むわれは子らが改造してくれし部屋の広きに未だ眠れず

(出詠順)

只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

烈風や羚羊岩にたじろがず

吉 児

木枯や揺る篋の葉擦れ音

信

津軽路にストープ列車の宴かな
おはようと行きかう人の息白し

リウコ

亡き人の句集よみゆく冬の夜
冬至の夜羊八匹目に消ゆる

都

コンテナに野菜山ほど冬仕度
みおろして港に続くみかん畑

洋 子

午後の陽を冬蒲公英が引き寄せし
朝水を飲むのどごしの冷たさや

浩 子

四方より浮洲に帰る鴨の列
午後の陽が枯すすき野を輝かす

味代子

忘れ花荅とぼしく咲きいでぬ
片づけて又すぐ出して師走かな

廃れゆく村のしきたり古暦
四五日も過ぎて刈り上げ九日餅

恒 夫

折り紙の猿の表情冬灯
冬ざれの畦往き来する同じ猫

礼

真上より伝書鳩来る冬の虹
勝手口開き豆選る小春かな

順 子

ずっしりと白菜重き立ち話
大ケヤキ林の字のごと落葉

修 一

嫁話来て十二月入籍す
初雪や取り残し菜の埋れいて

一 穂

雪散らす落松林峠越え
夕しぐれ畑の作物軒下に

敦 子

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係 町民係	☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

税 今月の納期

- 1月25日までに納めましょう
- 町県民税(4期)
 - 固定資産税(4期)
 - 後期高齢者医療保険料(6期)
 - 農集排使用料(1月分)

募集

平成28年度

只見町奨学生募集について

優秀な人材を育成するため、無利子で奨学資金をお貸しします。希望者は、次の事項に留意され、お申し込みください。

●対象及び条件

- ▽平成28年度に高等学校・短期大学・大学又は各種学校に進学を希望される方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。
- ▽貸与を希望される方の、本籍又は住所が只見町に引き続き6カ月以上有すること。
- ▽経済的理由により、就業が困難と認められること。
- 利用可能貸与額
- ▽高等学校 月額1万2千円以内

▽私立大学 月額4万円以内
▽国公立大学・短期大学 及び各種学校 月額3万円以内

▽文庫金(4年制大学に限る) 大学入学時 30万円以内

●奨学資金の返還

奨学生は、卒業又は退学、奨学金辞退等の月より6カ月の返還準備期間をおき、7カ月目から8年以内に月賦で返還していただきます。

●募集要項の設置場所

教育委員会、朝日・明和振興センター、只見中学校、只見高校、南会津高校、町内の郵便局、東邦銀行只見支店、JA会津みなみ只見支店に設置してあります。

●募集期限

平成28年2月15日(月)まで

●奨学生の採用決定

審査決定後、本人に通知します。通知は3月中旬頃になります。

▼問い合わせ

教育委員会事務局学校教育係
☎ 0241(82)5320

保健師などをめざす
奨学生を募集します

次の職種をめざす方で将来町の施設で業務に従事しようとする方に対し奨学資金を貸与します。

●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

※法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方

●貸与額

月額10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定

奨学資金貸与条例により※原則として10年以内に返還。

※ただし、一定の期間内に資格を取得し、資格取得後直ちに(保健師、助産師、看護師は5年以内に)町の機関に就職し、その後引き続き10年以上当該業務に従事したときは返還の債務が免除されます。

●申込手続

奨学資金貸与申請書に住民票抄本、履歴書、健康診断書等を添えて、保健福祉課係に提出してください。

申請書等は申し込みのあった方に直接送付しますので、保健福祉課にご連絡ください。なお、進学予定の方も受け付けます。

●募集期間

平成28年2月12日(金)まで

▼問い合わせ

保健福祉課 保健係
☎ 0241(84)7005

只見おもしろ学クイズ

広報ただみの只見おもしろ学クイズを1年間熟読すると、検定に合格できるかも…!?

〈第1問〉

アカミノアブラチャンがあるのは、只見町のどこの地区ですか?

〈第2問〉

水あめを作る順序で、ふかしたもち米に麦のモヤシをかけて保温して放置したあと、木綿袋に入れて絞りますが、この絞る作業のことを何と言いますか?

(答えは15ページです)

「申告は正しくお早めに！」

平成27年分の所得税及び復興特別所得税、贈与税の確定申告の期限は3月15日（火）、消費税及び地方消費税（個人事業者）の確定申告の期限は、3月31日（木）です。

田島税務署の申告書作成会場（田島税務署1皆会議室）の開設は、2月10日（水）～3月31日（木）までです。

※税務署の閉庁日（土・日・祝日）は、相談及び申告書の受付は行っておりません。

「税金の納付は、振替納税が便利です！」

平成27年分の納付期限は、申告所得税及び復興特別所得税、贈与税が3月15日（火）、消費税及び地方消費税（個人事業者）は、3月31日（木）です。

振替納税をご利用の方は、申告所得税及び復興特別所得税の振替日が、4月20日（水）、消費税及び地方消費税（個人事業者）の振替日が、4月25日（月）となっております。

※贈与税については、振替納税はできません。

▼問い合わせ

確定申告に関する一般的なご相談は、「電話相談センター」をご利用ください。（音声ガイダンスの後「0」を選択）

田島税務署に直接連絡する場合は、音声ガイダンスの後「2」を選択してください。

〈田島税務署 0244-621230〉

町長の手帳

町長スケジュール 〈12月分〉

- 1日 只見町戦没者追悼式、東北農政局福島支局長来庁、区長連絡協議会懇親会
- 2日 読売新聞取材、一級河川只見川整備促進期成同盟会設立総会（金山町）
- 3日 実施計画町長ヒアリング、ヤマト運輸との災害時及び地域見守に関する協定締結式、東邦銀行業況説明会（会津若松市）
- 4日 滝調整池堆砂対策協議会、雪まつり実行委員会
- 5日 JR只見駅前ライトアップ点灯式
- 7日 特別養護老人ホームあさくさホーム竣工祝賀会、三笠宮彬子女王殿下只見小訪問、議案検討庁議会津管内首長との意見交換会
- 8日 ふくしま市町村支援機構副理事長来庁、優良河川愛護団体感謝状贈呈式、一般質問検討庁議
- 10日 湯ら里取締役会、第三セクター経営検討委員会報告
- 12日 雪むすめ委嘱状交付式
- 14日 只見町議会12月会議（～18日）
- 16日 エコパークに関する住民懇談会
- 17日 雪まつり記念切手贈呈式
- 18日 只見スキーオープン式
- 19日 会津農書講演会（北会津）
- 21日 只見川河川整備促進期成同盟会要望活動（国交省（東京）～東北地整（仙台））
- 22日 エコパーク連絡調整会議
- 24日 南会津町村長会議、南会津会評議員会・理事会（南会津町）
- 25日 立教大学生との意見交換会、民生児童委員協議会懇談会
- 28日 仕事納めの式（あさひヶ丘、役場）

「彬子女王殿下と子供たち」

昨年の暮れに、髭の殿下で親しまれた寛仁親王殿下のご息女、三笠宮彬子女王殿下が只見小学校を訪問され子供たちと交流されました。今回の訪問は、水墨画でお世話になっている高橋範子先生と教頭先生との関係で実現したとのこと。皇族ということで少し緊張しましたが、とても気さくなお方で、子供たちはすっかり打ち解けて親しげに接する姿はさすが子供たちだと思いました。

彬子様は、史学・日本美術を深く学ばれ5・6年生に日本美術史の授業をされました。給食も共にされ、何気ない子供たちの姿に触れたり、只見の景色を味わってもらったり彬子様にとっても心に残る楽しいひとときであったことを願います。

只見ユネスコエコパークに認定された只見町の視察、只見小学校の子供たちとの交流を通じて只見町への見識と愛着を少しでも深めていただけたとすれば、大変光栄なことであり、何よりも子供たちにとって貴重な経験になったことと思います。

同行された高橋先生は室町時代の水墨画家「雪村」の一幅の作品を持ってこられました。およそ500年前の本物の掛け軸、これをお子たちの目の前で開いての授業は、墨絵の世界にうまく心を誘い込み、子供たちの創造力を引き出す素晴らしいものでした。

このような機会を作って頂いた方々に感謝します。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(11月26日～12月25日届出分) 敬称略

■ご結婚おめでとうございます

茨城県 酒寄 佳樹♡酒井 沙織 亀 岡
山形県 青木 喜幸♡渡部 陽子 小 川
布 沢 小林 拓矢♡馬場 景子 塩ノ岐
只 見 藤田 洋平♡船木 望 黒 谷

■おくやみ申し上げます

五十嵐 君子	78歳	長 浜
近 藤 春 雄	86歳	黒 谷
馬 場 和 子	85歳	塩ノ岐
梁 取 ヨシエ	99歳	坂 田

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成27年12月1日現在

人 口 4, 4 6 3 (+ 1 1)
男 2, 1 7 5 (+ 9)
女 2, 2 8 8 (+ 2)
世帯数 1, 7 9 6 (+ 1)
高齢化率 4 3. 8 %

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 20 転出 6 出生 3 死亡 6

あとがき

▽あけましておめでとうございます。
暖冬予報は的中し、福島県内のスキ
ー場は雪不足で困り、只見町でも今
このあとがきを書いている12月24日の
段階では雪が積もっていません。
▽ニュースでは、この暖冬は地球温暖
化とエルニーニョ現象のせいと、今年
の世界の気温は観測史上最高だった
そうです。しかし、只見町に雪が降
らないなんて事は考えられませんの
で、今は雪のまったく無い只見ですが、
あと数日後には見馴れた真っ白い世
界になっていることでしょう。

(古津)

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

生涯学習推進員
大束由佳

朝日振興センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★老後の資金がありません



垣谷 美雨/著(中央公論社)

主人公の主婦は、老後の資金として1,200万円の貯金をしていました。しかし、娘の派手婚、義父の葬儀代、お墓代、残された義母の生活費と出費が重なり、老後の資金を切り崩していくことになります。追い打ちをかけるかのように、夫婦でリストラ…老後の資金はピンチに。家族のつながりや友人との関わりが描かれていて、「自分だってこうなるかもしれない」と思うような一冊です。

★いもうとガイドブック



ポーラ・メトカーフ/文
スザンヌ・バートン/絵
福本友美子/訳(少年写真新聞社)

妹の扱い方が項目ごとに分けられている、まさにガイドブックです。妹がいると大変だけど、いいこともある。姉妹の「あるある」を、お姉ちゃん目線でユーモアたっぷりに描いています。
妹のいるおねえちゃんではなくても、ぜひ読んでもらいたい心温まる一冊です。

★朝日振興センターでは、リクエストを随時受付しています。読んでみたい!という本があればぜひ、リクエストしてください。

(第2問)

アメシボリ

(第1問)

長 浜

13ページ
只見おもしろ学
クイズ 答え

ニホンジカ (学名: *Cervus nippon*)

[ウシ目 シカ科]



▲黒谷で撮影されたニホンジカのメス
(2015年8月9日)

ニホンジカは、只見町では近年目撃される機会が増えてきた大型草食動物です。只見町で昔から狩猟をされてきた方々の話によると、20年ほど前から目撃が増えてきたようです。名前にシカがつき、形や大きさは只見町でも馴染み深いカモシカに似ています。しかし、カモシカがオス・メスともに短いツノを持つのに対して、ニホンジカはオスのみが枝分かれしたツノを持ちます。カモシカのツノは生涯生え替ることはありませんが、ニホンジカのツノは毎年春先から夏の時期に生え替るという

違いもあります。また、ニホンジカは積雪のある地域でも生息していますが、カモシカと比べると雪が多い場所は苦手です。カモシカが普段は単独で暮らしているのに対し、ニホンジカは群れで生活するという点も異なります。

ニホンジカは、近年、生息数の増加に伴い森林や農作物へ被害をもたらすことが問題となっています。只見町から程近い尾瀬国立公園では、ニッコウキスゲといった湿原の植物や森林内の植物が食べられるという被害が深刻になっています。また、隣町の南会津町では既に農作物や自然植生への被害が出ているようです。只見町でも、今後、生息数の増加とそれに伴う植物や農作物への影響を注意して見ていく必要があります。



▲枝分かれしたツノをもつニホンジカのオスの頭骨

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示

「只見町の生物多様性を考える」 期間：2016年2月29日まで

ユネスコエコパーク登録一周年記念事業

研究成果発表会：2016年1月31日(日)午後1時～5時半

朝日振興センター 2階ホール 入場無料